

東北海区沿岸水温予報(2020年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月~5月は平年並み ~やや高めで経過した。	・定地水温はやや高め。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面でやや高め、50m層及び100m層で平年並み。東方への張り出しははなはだ東偏(太平洋海洋観測結果)。 ・6月の対馬暖流の各層水温は表面で平年並み、50m層及び100m層でやや高め(日本海海洋観測結果)。	・津軽暖流域の水温はやや高め~高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月は高め基調で推移すると予測されている。 ・津軽暖流の張り出しは平年並みの傾向がみられる。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】(4/7~4/9) 《表面水温》 10海里以内は8~9℃台であり、全域でやや高め~高めであった。 10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め~極めて高めであった。 《100m深》 10海里以内は、やや高め~高めであった。 10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め~極めて高めであった。 【5月】(4/27~4/29) 《表面水温》 10海里以内は、8~9℃台であり、全域で平年並みであった。10海里以遠は、県北部沖から県中部沖の30海里以遠で平年並み~やや高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域で平年並み~やや高めであった。 10海里以遠は、県北部沖及び県南部沖の20海里以遠でやや高め~高めであった。	【6月】(6/1~6/3) 《表面水温》 10海里以内は11~13℃台であり、平年並み~やや高めであった。 10海里以遠は、県北部沖から県中部沖の50海里以遠、県南部沖の40海里以遠で平年並み~やや低めであった。 《100m深》 10海里以内は、平年並み~高めであった。 10海里以遠は、沖合域ほど高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の20~50海里でやや高め~高めであった。	予測される7月の水温は、100m深は県南部沖の10海里以内で平年並みのほかはやや高め、各0海里定点の10m深は全ての定点でやや高め。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。	今漁期のツノナシオキアミ累計水揚量は約1,561トンで、1996年以来最低であった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	【4月】 表層・100m層ともに平年より1~4℃高め。特に142°E以東が高水温。 【5月】 表層は1~4℃高め、142°E以東で高水温が顕著。100mでは1~2℃高め。	仙台湾内及び湾口付近では2~3℃高め。142°E以西は平年並み、142°E以東では表層で1~2℃高め。	いずれの海域も平年並で推移。	自己回帰係数固定モデルによる。	親潮の北偏傾向が続く。 5~6月、142°30'E以東の沖合海域欠測、補完して計算。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	【4月】 《100m深水温》 県北沿岸、沖合ともに「やや高め」、 県中沿岸、沖合ともに「平年並み」、 県南沿岸は「平年並み」、 沖合は「やや低め」 【5月】 県北沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中沿岸、沖合ともに「極めて高め」、 県南沿岸、沖合ともに「極めて高め」 ※県北:37°50'N、県中:37°25'N 県南:37°00'N、 沿岸:142°00'E以西、 沖合:142°15'E以東	【6月上旬~中旬】 《100m深水温》 県北沿岸は「やや高め」、 沖合は「平均並み」 県中沿岸、沖合ともに平均並み 県南沿岸は「高め」、 沖合は「極めて高め」	【7月】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。 【8月】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。	気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(6月10日発表)によると、7月10日までの本州東方の海面水温は「平年並み」か「平年より高い」見込みであり、親潮は「南限位置は40°N、147.5°E付近」になり、「面積は、平年よりかなり小さい」と予測されている。 また、FRA-ROMS発表の2020年6月予測水温偏差及び7月~8月上旬にかけての100m深水温によると、7月の福島県海域の水温は平年並みか平年より1~2℃高めとなり、8月上旬でも親潮系暖水の波及は継続するため、この傾向は続くと思われる。 以上のことから、7月から8月にかけて「平年並み」もしくは「平年より高め」で推移すると予測した。	
常磐南部 ~鹿島灘	【4月】 南部・沖合では黒潮の影響によって	黒潮系暖水の影響で、全体的に水温が高く、概ね	「平年並~やや高め」で推移する見通し。	①茨城県海域は黒潮系暖水に広く覆われており、特	ヤリイカの漁期が長く、5月

(茨城県沿岸; 茨城水試発表)	顕著な昇温が見られ、全層においても「 平年並～高め 」だったが、会瀬定線の0～100m深141.75°付近では「 やや低め 」だった。	「 平年並～高め 」だった。会瀬～大洗定線の一部では「 極めて高め 」となった。50～200m深の鹿島定線では湧昇がみられ、やや降温した。	に北部で平年より高い傾向にある。 ②6月上旬に海洋観測で取得した水温を用いて自己回帰分析を実施した結果、1か月後の水温は「 平年並～やや高め 」で推移するとの予測となった。 ③FRA-ROMSによると、7月上旬は表層で「 やや高め～高め 」、100m深で「 平年並～やや高め 」で推移するとの予測であった。 ④以上より、今後の水温は、「 平年並～やや高め 」で推移すると予測した。	になっても例年のピークである1月の漁獲量と同程度獲れている
	【5月】 前月と比較すると、黒潮の影響によって北部ほど昇温の傾向が強く、会瀬定線の0～100m深の一部では7℃以上昇温した。一方で黒潮流路が離岸した犬吠埼定線の沖合域では降温した。0・200m深で「 平年並～高め 」、50・100m深で「 平年並～極めて高め 」となった。大洗以北では「 高め 」や「 極めて高め 」といった平年よりも高い水温が観測された。			

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～